



府連通信

2022年5月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info
@jcfaosaka.org
ホームページ
http://
jcfaosaka.org/

府連理事会開く 帰国者2世支援署名や 富田林支部結成の報告など9名が発

第1回拡大理事会を5月8日 部総会までに会員を59名から70
午後、国労会館で開催、常任理 名を目標に取り組んでいる。
事、理事、支部事務局長、支部 女性部の浅田さんからは中国
準備会から21名が参加しました。にゆかりのある地への訪問を企
議長に常任理事の石井さんを画、中国総領事館から映画の招
選出、渡辺会長の挨拶の後、松 待があり、3月の国際女性デー
尾理事長が議案の提案を行いま の催しにも参加、中国映画を見
した。

活動報告発言の前に「中国は ると発言されました
ひとつ」を学習テーマに山本恒 堺支部の浅田さんは市民公開
人副会長が、台湾との平和統一 講座や留学生との交流、例会を
は両地域の人心をひとつに、国 魅力的な行事にと中国語ミニ学
際法に反する他国の干渉や妨害 習も取り入れていると発言。
は許されないと講義されました。 帰国者センターの長山さんは
討論では9名の方から

発言があり、富田林支部
準備会の岡田さんからは、
5月21日の支部結成総会
に至るまでの報告とあわ
せて、仲間ふやしの報告
があり、今日もブレ企画
として「餃子をつくる会」
を開催し1名が入会され、
30名を超える会員になる
と報告がありました。
城北支部の西脇さんは
百科検定受験促進講座を
開催、帰国者2世支援署
名はもうすぐ千名になる、
団体への要請も行ってい
る。中国映画鑑賞会やハ
イキング、フードバンク
にもとりくみ、9月の支



報告がありました。
役員を先頭に会員、
進会員が一丸となつて
仲間を増やし、7月の
第11回中国百科検定試
験や、中国「残留孤児・
婦人」2世の生活支援
等を求める請願書名と
法制化を求める活動、
8月の「王希奇」展な
どの課題を成功させ、
7月24日の府連大会を
着実な前進で開催しよ
うと意思統一の後、山
本副会長が閉会の挨拶
を行いました。

第68回大阪府連大会を 開催します

会長 渡辺 武
7月24日1時半から
大阪国労会館3階会議室

議 事

- ① 2021年度活動のまとめと
2022年度活動方針の決定
- ② 2021年度決算と
2022年度予算の決定
- ③ 役員選出 その他

花のきりえ展 5月17日(火)〜22日(日) 長居植物園入口



シンビジウム・渡邊 庄子

第11回中国百科検定試験

7月16日 大阪会場は国労会館で

受験の申込締切りは6月16 応募
日です。実施の試験級は初級
と3級・2級です。(12月の
第12回試験では全級実施)
初級は中国に関する初歩的
な常識を問うもので、文字通
り「理解は絆を強くする」で
す。とくに準備は要りません。
40問中28問(7割)正解で合
格となります。
初めて受験される方、大歓
迎。申込書同封のリーフレッ
トをいつでもお送りします。
大阪府連事務所まで電話、メー
ルでご連絡を。
3級以上を目指す
方のための全国オン
ライン対策講座を開
催しています。
6月12日(日) 1
時から4時「中国の
政治と経済」(講師;
井手啓二先生)
オンライン・Z O
M方式に慣れな
方のための講座視聴
会のご案内(画像お
まめ再放映と質疑

初級問題です

問1. 中国(中華人民共和国)が建国
されたのは西暦何年でしょうか。

- ① 645年 ② 1269年
③ 1949年 ④ 2001年

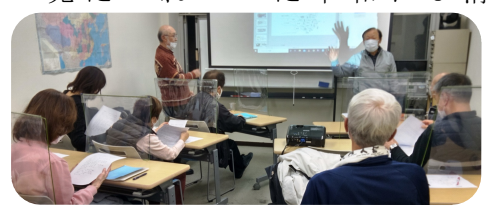
問2. 次の料理のなかで中国料理でな
いのはどれでしょうか。

- ① チンジャオロース
② トムヤムクン
③ マーボー豆腐
④ 北京ダック

正解 問1. ③、問2. ②

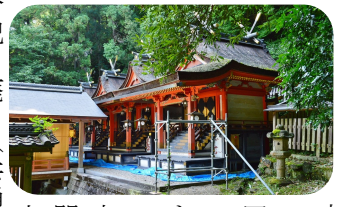
西支部 孫文辛亥革命110年 映画上映

4月24日、府連文化教室で国
交正常化50周年、辛亥革命11
0年、300年続いた清
朝政府を倒し、2000
年の専制政治体制に終わ
りを告げさせ、民主共和
政治へと努力した中国革
命の父「孫文」革命のた
めに世界各国をまわり、
資金を集め訴えました。
映画では日本を追われ
マレーシアを舞台にした、
ラブロマン스를交えた
「孫文・100年先を見
た男」を鑑賞しました。
Mさんの感想
「建物も洋服も華やかで明治時
代とは思えない豪華さ
で中国文明の深さを感じ
ました。
孫文の名言は心に響
きました、昔も今も貧
富の差がありますが、
こんなリーダーが今い
てくれたらと思います。
次回挑戦する中国百
科試験にも役立ちそう
です、余韻が残ります。
ありがとうございます
た。」



中河内支部 歴史散歩 古戦場史跡へ

「中国大紀行」DVD15枚(各
約1時間)を支部で購入しまし
た。中国の雄大な自然と悠久の
歴史を映像で学び、中国百科検
定試験の学習などに活用し、役
員に貸し出ししています。
日本の歴史や郷土の歴史を学
ぶ取り組みも始めまし
た。2月に予定してい
た「四糸縄手の戦い」
の古戦場・史跡歩きを
4月23日に行い、10名
が参加しました。
新緑の中、枚岡神社・
正行縁の首洗いの井戸
から生駒山ろくの山道
を通して、枚岡神社に合祀・廃
止された(明治5年)された村々
の氏神が祀られていた神社跡、
山畑古墳群のある郷土博物館、
眼下はかつての四糸縄手の戦い
の古戦場です。人家を巡って楠
木正行終焉の地・楠木軍戦士祀
る石碑などを見学して瓢箪山稲
荷神社まで1万3千歩のコース
でした。
支部では5月2日から
中国語講座10回コースを
開講、小部講師は中国全
土の地図から、普通語
(共通語・北方語)の他に広東
語など幾つもの方言があり、中
国語の特徴をわかりやすく、楽
しく学びました。四糸はなかな
か難しく、宿題になりました。
第11回中国百科検定試験の支
部主催学習会を5月20日に予定
長谷川テル記念碑建立募金に支
部からも支援することを決めま
した。(中河内支部 浜正幸)



帰国者二世の生活支援を求める請願署名

団体要請や学習会に取り組む

昨年2月「帰国者二世の生活 福岡県連や兵庫県連の援助を支援を求める請願署名」が70回受けながら独自に作成すること全国大会めざし10万の署名を呼になりました。リーフレットのびかけられました。

府連では7月第1回帰国者支援委員会が開催され、支部で学習会を開き、一人10筆をめどに進める。支援委員会として講師などの援助を行う。常任理事会と協力し関係する団体を訪問し、署名を要請する等を決めました。

「私たちは日中友好協会です。も得、生の声を聴くことができます。」「略」他の団体では代替えできませんでした。存在意義です。」(2000年7月井上会長談話)コロナ禍での反中感情に対し理性で立ち向かっていくよう訴えたものです。

「9条の署名」ではいろいろな意見もあります。「医療費の署名」では他団体と競合することもありました。しかし、この署名は断る人がいない、日中友好協会しかやってない活動です。

「署名お願いします。」「帰国者?『岸壁の母』の?舞鶴の記念館行ったことある。」「いので。署名は現在4723筆でやそうじゃなくって、残留孤児の生活支援。」「どこかの裁判で勝って、解決したと違うの?」

「それは一世でこれは二世三世の...」支部での学習会や団体訪問要請、地元議員訪問要請に説明する資料がなく苦労を余儀なくされました。



製作が決まりましたが8か月経過した今もまだできていません。8月大阪中国帰国者センターの協力で継続して帰国者支援を行っている久保井法律事務所を訪問。第3回支援委員会には帰国者二世、三世の方々の参加

5千筆に近づく

一人で800筆も集めた会員も現れました。布川方式と呼ばれています。①署名用紙を常に携行する。②気軽に訴える。③「9条の署名」では他団体と競合することもありました。しかし、この署名は断る人がいない、日中友好協会しかやってない活動です。

「署名お願いします。」「帰国者?『岸壁の母』の?舞鶴の記念館行ったことある。」「いので。署名は現在4723筆でやそうじゃなくって、残留孤児の生活支援。」「どこかの裁判で勝って、解決したと違うの?」

「それは一世でこれは二世三世の...」支部での学習会や団体訪問要請、地元議員訪問要請に説明する資料がなく苦労を余儀なくされました。

城北支部 日中カレンダー学習会開く

4月23日2時から第11回中国族に関わってとても雄大。」「百科検定試験に向けた第1回対策講座としての学習会には11人が参加しました。

日中友好協会が毎年作成し、販売しているカレンダーを使っている。中国を知ろうという企画です。今年2022年のカレンダーを使って撮影地の特微やまつわる歴史の紹介は、井上正道さん(特級合格者)が行いました。

終了後の交流会では、「中国の名所、旧跡は歴史や宗教、民



人の話は講師の説明をさらにふり、興味尽きない学習会になりました。(森脇 篤子)

アジアから問われる日本の戦争展

30団体以上の参加で開催された、アジアから問われる日本の戦争展が4月30日と5月1日エル大阪で開催されました。各団体の展示は3フロアーに分かれて展示されました。

大阪府連は「望郷の星」を上映、50名以上の参加者が鑑賞しました。

この映画の主人公・長谷川テルの生涯を展示、関連図書も展示、堺支部も「日中戦争の毒ガス戦と万人抗」をテーマに展示しました。反戦国際兵士伊田助男の展示もされていました。

展示会場で65筆署名が集まり、ブックレット3「日本は中国でなにをしたか」7部販売しました。



堺支部 「にがい涙の大地から」を上映

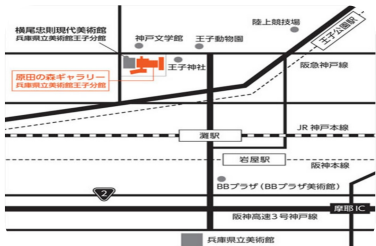
日中堺支部は4月30日エルおさか本館5階視聴覚室「アジアから問われる日本の戦争展」で「にがい涙の大地から」を上映しました。

過去の戦争で遺棄された化学兵器に苦しめられる人々の姿を追ったドキュメンタリー。監督はインドネシアの元『慰安婦』を取材したドキュメンタリー映画「マルディエム 彼女の人生に起きたこと」の海南友子。遺棄兵器に関心の高い中国では、撮影中から監督に同行取材する新聞やテレビが殺到。完成後は、中国最大のテレビ・中央電視台に監督本人が招聘されて、ゴールデンタイムの全国放送でこの映画に関する特集番組も放送された。(2004年製作87分)

リュウ・ミンが19歳の時、父親が、旧日本軍の遺棄した砲弾の事故にあった。手足が吹き飛び18日間苦しんで死んだ。父の死後、治療費は莫大な借金になり、家も全て売った彼女たちは、



葫蘆島からの邦人引き揚げを描いた「一九四六」神戸展
8/31(水)~9/4(日)
10:00~18:00
原田の森ギャラリー
神戸市王子公園隣り
入場料 大人1000円



2003年8月には、中国東北部のチチハル市で、新たな遺棄毒ガス兵器の事故が起きた。1名が死亡、子供を含む43名が深刻な後遺症を負った。戦争が終わって60年。中国の大地には今も、日本が棄ててきた兵器が人知れず眠っている。

(上村 康夫)

